

鹿児島県



97 鹿兒島城

--- 100名城 ---

2022.10.13



別名： 鶴丸城

由来： 屋形の形状が鶴が羽を広げたようであったことによる。

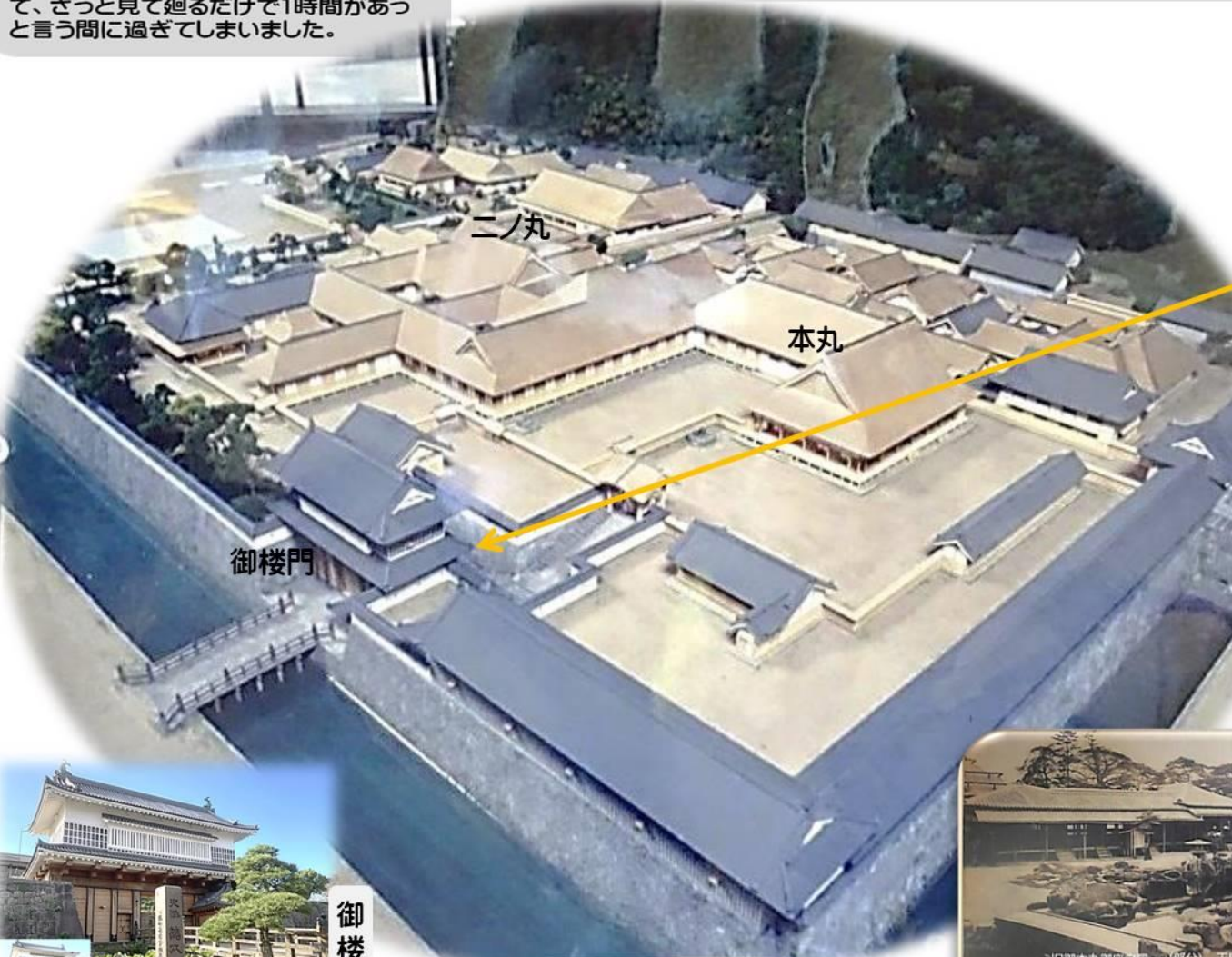
1601年に島津忠恒（家久）により築城され、以後廃藩置県まで島津氏の居城であった。城跡は鹿児島県史跡に指定されている。

鹿児島県

FB - 137 (1/2)



大手門を潜ると目の前には西南戦争時の生々しい弾痕の残る石垣が有り、その先には鹿児島県歴史資料センター黎明館が聳え立っています。広くて大きくて、ざっと見て廻るだけで1時間があつと言う間に過ぎてしまいました。



西南戦争の痕跡 石垣に埋まった弾痕C



旧御本丸御楼門前之景 (部分) 玉里島津家資料 鹿児島城遠景 (御楼門・御角櫓・多間櫓)



御楼門

鹿児島城模型



旧御本丸御座之景一 (部分) 玉里島津家資料 麒麟之間・鶴之間・御池 現在の黎明館内レストラン前の広場あたり)



旧御本丸御座之景三 (部分) 玉里島津家資料 御小納戸・二之間・牡丹之間などと御池 (現在の黎明館内レストランのあたり)

江戸時代の城下町風景



戦前の街中風景



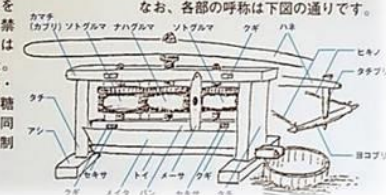
出水簾(高屋敷)
想定再現模型
江戸時代後期
縮尺=1/50



砂糖黍しぼり機

薩摩藩の借財500万両の財政改革の主財源に砂糖の専売制度が位置づけられました。専売制度の高値価格維持のために、藩は生産量拡大と品質の確保を求め、販売りや消費を厳禁したため生産島民の苦難は計り難いものとなりました。天保元年(1830)に、大島・喜界島・徳之島の三島砂糖の惣買入制が実施され、同10年には奄美三島に羽書制度が実施されています。

しぼり機の動力は、牛・馬一水車一発動機とかわり、明治中期からは木輪車が鉄輪車に改良されました。なお、各部の呼称は下図の通りです。



197 志布志城

--- 続100名城 ---

2022.10.11



志布志城は内城・松尾城・高城・新城の4つの城郭の総称です。なかでも国の史跡にも選ばれている内城は規模がもっとも大きく志布志城の主城とされています
築城年代は不明、南北朝時代からと考えられ、名前がはっきりしているところで、12世紀から次々と城主が変わっている。
1577年、志布志は島津氏の直轄地となり、その後も【外城(とじょう)】として重要な役割を果たしたものの、一国一城令で廃城となった。

鹿児島県

FB - 138



登城口には、「先日の大雨による倒木などで道の状態が非常に悪く、途中までしか行けません。」などの手書き案内紙が貼られていましたが、行けるところまで行こうと思いきますと・・・！矢張り写真のようにとっても歩ける状態ではなく断念しました。最も身体の方もバテてはいましたが!!!

模型のように本当に切り立った断崖のような(ゴルフで云うと砲台グリーン)状態で疲れました。



外城制度(とじょうせいど)

外城制とは薩摩藩が行った地方支配の制度。1784年、この呼称を【郷】と改めた。
鹿児島城下のほかに113の外城【郷】を設け、武士を土着させ、地頭がこれを統轄して、軍事・行政を行う制度薩に住む武士【郷士】は平時は、農耕によって自活、戦時には地頭の指揮下に動員される仕組み。
次のNo.198-知覧城も外城のひとつです。

志布志城は内城・松尾城・高城・新城の4つの城郭の総称



国指定史跡「志布志城跡」復元模型

198 知覧城

--- 続100名城 ---

2022.10.11



知覧城のある鹿児島県は、火砕流堆積物からなる「シラス台地」にほぼ覆われ、特殊な地形の中で、シラス台地を切り込んだため、堀が深く、規模が大きいなどの独自の城の構造が発展してきました。
また、薩摩藩は独自の統治システム「外城制」を敷き、先の志布志城同様その代表格として知覧城が挙げられます。

鹿児島県

FB - 139



知覧平和公園内のミュージアム知覧(スタンプ場所)の隣には知覧特攻平和会館があり、その園内に特攻に使用した飛行機が2機展示されているのにはびっくりしました。

知りませんでした、昔の特攻飛行隊の基地だったのです。公園内には自衛隊の人が他の観光客?に説明しており、また私には飛行機の前での写真撮影をしてくれました。



知覧城の建物イメージ図



薩摩国における外城



知覧城跡